

食糧用二条大麦「ニシノホシ」の播種適期と施肥量

〔要約〕収量、耐倒伏性、検査等級および精麦適性からみて、「ニシノホシ」の播種時期は標準播（11月25日播）が適する。施肥量（窒素成分/10a）は「ニシノチカラ」に準じ、基肥を5kg、追肥は1回目を4kg、2回目を2kgとする。

農産研究所・栽培部・作物品種研究室

連絡先

092-924-2937

部会名	農産	専門	栽培	対象	麦類	分類	指導
-----	----	----	----	----	----	----	----

〔背景・ねらい〕

福岡県では、「ニシノチカラ」より成熟期が早く、耐倒伏性が優れ、大麦縞萎縮病に強く、精麦適性の優れる「ニシノホシ」を平成9年に準奨励品種に採用した。そこで、「ニシノホシ」の速やかな普及と高品質生産を図るため、収量、耐倒伏性、検査等級および精麦適性からみた播種適期と施肥量を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 「ニシノホシ」は、標準播（11月25日播）は早播（11月11日播）と遅播（12月10日播）に比べて「ニシノチカラ」と同程度の収量が安定して得られるとともに、検査等級は良好で精麦白度が高く優れる（表1）。早播すると収量の年次変動が大きく、検査等級が未熟粒や被害粒により劣ることがあり、精麦白度も低くなる。遅播すると検査等級および精麦適性は同程度であるが低収であり、稈の挫折重が小さくなり耐倒伏性が劣る（表1）。
- 2 施肥量は、「ニシノチカラ」に準じ、10a当たりの窒素成分で基肥を5kg、追肥の1回目を4kg、2回目を2kgとする。多肥にすると収量は増加するが、稈の挫折重が小さくなり耐倒伏性が劣る。また、精麦時間が長くなり、精麦白度も低くなって精麦適性は劣る（表2）。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 麦栽培技術指針に記載し、高品質麦栽培の指導資料として活用する。

[具体的データ]

表1 播種時期と生育・収量・品質

年次	播種時期 ¹⁾	品種名	出穂期	成熟期	穂数 本/㎡	子実重 ²⁾ %	稈の 挫折重 g	倒伏 程度	千粒 重 g	検査 等級	55%精麦	
											時間	白度
平成8年度	早播	ニシホソ	4. 3	5. 15	506	114	860	0	43.2	1.0	4/45	43
		ニシチカヲ	4	16	476	112	959	0	45.2	1.0	4/55	39
	標準播	ニシホソ	4. 13	5. 21	498	47.1	638	0	38.4	1.0	4/55	45
		ニシチカヲ	14	24	462	47.5	760	0.3	40.6	1.0	5/00	40
	遅播	ニシホソ	4. 17	5. 26	580	94	486	0.5	37.4	1.0	5/05	44
		ニシチカヲ	18	28	457	96	506	0	40.8	1.0	5/10	43
平成9年度	早播	ニシホソ	3. 30	5. 11	520	88	815	0	37.9	5.0	11/30	41
		ニシチカヲ	30	12	410	96	723	0	40.5	3.0	11/30	37
	標準播	ニシホソ	4. 6	5. 14	495	45.4	684	0	40.1	2.5	10/15	42
		ニシチカヲ	8	15	503	44.2	823	0	41.7	2.0	11/30	39
	遅播	ニシホソ	4. 11	5. 17	423	75	631	0	40.4	2.0	8/23	40
		ニシチカヲ	12	17	400	83	848	0	41.1	2.0	12/00	41

注) ①播種時期：早播は11月11日播、標準播は11月25日播、遅播は12月10日播。
 ②子実重(kg/a)：早播及び遅播は標準播の子実重に対する比率(%)で表示した。
 ③施肥量(N成分kg/10a、基肥+1追+2追)：5+4+2。

表2 施肥量と収量・倒伏関連形質・品質¹⁾

年次	施肥量 ²⁾	品種名	出穂期	成熟期	穂数 本/㎡	子実重 ³⁾ %	稈の 挫折重 g	倒伏 程度	千粒 重 g	検査 等級	55%精麦	
											時間 ⁴⁾	白度
平成8年度	多肥	ニシホソ	4. 14	5. 23	592	115	602	1.0	38.8	1.0	5/10	43
		ニシチカヲ	15	25	476	108	724	0.5	40.4	2.0	5/05	41
	標準	ニシホソ	4. 13	5. 21	498	47.1	638	0	38.4	1.0	4/55	45
		ニシチカヲ	14	24	462	47.5	760	0.3	40.6	1.0	5/00	40
平成9年度	多肥	ニシホソ	4. 7	5. 15	546	103	644	0	39.5	3.0	10/43	42
		ニシチカヲ	8	14	461	110	734	0	40.2	2.8	11/50	41
	標準	ニシホソ	4. 6	5. 14	495	45.4	684	0	40.1	2.5	10/15	42
		ニシチカヲ	8	15	503	44.2	823	0	41.7	2.0	11/30	39

注) ①数値は平成8~9年度の標準播(11月25日播)による平均値。
 ②施肥量：標準は表1に準ずる。多肥は平成8年度は7+4+3、平成9年度は6+4+3。
 ③子実重(kg/a)：多肥は標準の子実重に対する比率(%)で表示した。
 ④平成8年度は中島精麦所、平成9年度は福岡県食糧事務所で調査した。

[その他]

研究課題名：作物の品種特性解析に関する試験

予算区分：経常

研究期間：平成9年度(平成8~9年)

研究担当者：内村要介、尾形武文、松江勇次

発表論文等：平成9年度秋冬作及び平成10年度早期水稻試験成績概要書